

自分の進路をどのように見つけていけばよいのでしょうか

先日の進路説明会でも話をさせていただきましたが、学校にはそれぞれ特色があります。その特色をよく調べて、どのような学校が自分の考えている進路に合うのか探してみましょう。と同時に、自分に何が向いているのか、将来どんなことがしたいのかを考えることも、進路を考える場合、大変大切になってきます。

再来週からの期末考査の学習も、計画的にすすめていきましょう。

1 大学進学か専門学校か就職か

大学進学することを基本に考える場合、いくつかの選択肢があります。

普通科の進学校に進む方法。ほぼ全員が進学を希望する学校では、大学入試を念頭においたカリキュラムになっています。高校によっては、類型コースによりクラス分けをしたり、選択科目を選ぶことで受験に有利な履修ができるように組んであります。

一部の私立高校のように大学付属である場合は、高校在学中の成績や内部試験で、一般受験の生徒より有利に進学することもできます。また、特定の分野（例えば商・工業系や看護系）への進学を希望する場合には、職業高校出身の方が有利なケースもあります。

ポイント

- ①全体の進学率は何%？
- ②現役・浪人の占める割合は？
- ③さまざまな国・公・私立大学および学科・学部幅広い合格者を出しているか？
- ④自分の進みたい大学に実績があるか？
- ⑤近年合格実績が上がってきているか？

もちろん、どんな条件の高校に入学しても、最終的にものを言うのは自分自身が目標に向かって3年間努力することができるかということには、変わりありません。

専門学校で技術を身に付け社会に出ようと考える場合、普通科・職業科どちらの出身でも受験は可能です。ただし、美術系の専門学校の中には、デッサンや平面構成など実技面でのテストを重視するところもあります。こうしたことを考えていくと、同じ普通科であっても、芸術科目の履修単位がどのくらいあるのかとか、3年生での選択科目で美術の科目があるのかなど、自分の希望する進学先にあっているかを見極めることも必要です。

また、最近の傾向としてコンピューターを利用した情報処理やプログラミングの分野に進みたい場合は、高校在学中から基礎が学べる高校もたくさんあります。特に、商業・工業系の高校には、一人一台の利用が可能なコンピュータールームを備えた学校が多いです。施設や設備の面もチェックしておくべきでしょう。

◎就職に有利な専門高校について

都立高校にも、国際系・工業系・商業系・農業系などの専門学科がありますが、私立高校にも、普通科の中に外国語系や福祉系、体育系などのコースを設けている場合があります。

これらの学科・コースは、普通科目のほかに専門科目を多く学び、実技や実習を増やすことによって、卒業後、実際の社会に出てすぐに役立つような知識・技術を身に付けることができます。このように、高校卒業後すぐに就職することを考えている場合には、専門高校は有利であるといえます。普通科・職業科ともに3年間で学ぶ総単位数は余り変わりません。その中で、職業科では、専門科目の占める割合が3分の1から2分の1近くを占めています。そのため、職業科高校から大学進学を目指す場合は、受験科目を学ぶ時間が少なくなってしまうこともあります。

最近では、職業科の専門科目を受験科目に選べる大学も増えてきています。将来自分が就きたい職業分野が決まっていて、就職に役立つ技術を身に付けたいと思っている場合は、専門高校をチェックすることをおすすめします。

2. 私立校と都立校について

公立高校は文部科学省の管轄下において、特定の方向や主義、宗教に偏ることなく、教育の中立性・公共性を保つことが特徴となっています。このため、公立校であればどこも同じような校風と思われがちですが、実際は各高校ごとに独自の歴史や教育方針に基づいて、その学校独自の特色が打ち出されています。

生徒の自主性を重んじる学校、ボランティア活動を熱心に展開する学校、国際理解教育に重点を置き外国語教育に多くの時間をかける学校、武道が必修科目となっている学校、部活動が盛んな学校など、力を入れてどの学校も独自色を出しているのです。

私立高校は学校ごとの独自性が認められているため、創業者や設立団体の主義に基づいた教育や宗教教育を行う高校もあります。設備面でも恵まれている学校が多く、大学進学に向けて独自のカリキュラムを組んでいるなど、学校ごとに大きな違いがあります。

校風や学校の様子を知るためには、資料を調べることも必要ですが、実際にその雰囲気を感じることが大切なので、学校説明会や一日体験入学など、その学校に出かけてみるのが一番良い方法になります。

◎大学付属校とは

大学付属校とは、大学や短大が併設された高校で、高校卒業後、推薦などで、併設された大学や短大に進学できる高校のことです。

国立大学の付属校には、基本的にこのような特典はなく、大学入試の際には一般と同じ条件で受験に臨むことになります。

私立の大学付属高校はどうでしょう。高校によって、全員が進学できる学校もあれば、全体の2割程度しか進学できない高校もあります。希望する学部にいけるかどうかは高校での成績によって決まるという高校もあります。

まず、**推薦や内部試験**によってどのくらい**の人数枠で進学できるか**、チェックしてみましょう。また、**進学する系列大学に自分の志望する学部や学科があるかもよく確かめておく**ことが必要です。自分の志望する学部がなかった場合、他大学を受けることになり、付属に入った恩恵を受けない場合もあり得るからです。大学付属高校は併設された小学校や中学校から進学してくる場合もあります。その場合、募集人数が少ない可能性があり競争率が高くなることもあります。それ以外にも、エスカレーター式に進学した生徒とどのようなクラス編成になるかなどの、入った後のことも調べておきましょう

学校見学会・授業公開情報

<都立墨田川高校> ※学校HPより要予約

① 小論文対策会

日時：8月13日（火）【時間】午前の部 10:30~12:00 定員100名
午後の部 13:30~15:00 定員100名

② 第1回自校問題対策会

日時：8月24日（土）【時間】午前の部 8:30~12:00 定員300名
午後の部 13:00~16:30 定員300名

<立教新座高校> オープンキャンパス ※学校HPより要予約

日時：7月15日（月・祝）【公開時間】9:00~15:00

日	曜	来週の予定
6/17	月	九中学習相談室 ①修学旅行事前学習
18	火	期末考査一週間前
19	水	第1回和食の日
20	木	九中学習相談室
21	金	⑤⑥修学旅行事前学習

テスト前チェックポイント

★**提出物は丁寧に、余裕をもって終わらせよう。**

★**学習の計画→実行できていますか？**

★**間違えた箇所を繰り返し解くことも得点アップのポイントです。**